

日トルコ5Gワークショップ概要報告

2015年10月7日、総務省とトルコ共和国・情報通信技術庁 (ICTA) の間で、情報通信技術に関する協力に関する共同声明への署名が行われ、この共同声明では、日・トルコ間の次世代移動通信システム(5G)に関する協力を強化するため、国際標準化機関での議論における協調や両国の民間セクターの関係強化等を内容としている。本ワークショップは、上記共同声明を踏まえ、総務省とICTAの共催で開催されました。

- **日時:** 2017年1月10日(火) 10時～18時
- **場所:** ICTA大会議室 (トルコ・アンカラ)
- **参加者:** トルコの主管庁、通信事業者、製造メーカ、大学・研究機関から約250名が参加。日本からは、総務省総合通信基盤局の富永局長を団長に5名が参加。

■ 概要:

- **オープニングセッション:** Sayan情報通信技術庁総裁が、歓迎の挨拶と本ワークショップ開催の趣旨を述べた後に、トルコの経済・技術の発展状況とともに、日トルコ間の協力の経緯を説明した。また、2016年4月に、トルコ5Gフォーラム(5GTRフォーラム)を設立したので、5Gの標準化に向けて是非協調したいと言及した。続いて、Kavranoglu大統領首席補佐官の来賓挨拶、富永局長の挨拶及び日本における5Gの検討状況の概要に関するプレゼンテーションを行った。
- **政府関係者のセッション:** ICTAのYilmaz氏(Market Surveillance研究所長)がトルコでの5Gに関する技術と政策動向について、総務省移動通信課の高橋課長補佐が日本における移動通信システムの発展状況、5G実現に向けた取組等についてプレゼンテーションを行った。
- **民間セクターのセッション:** ASELSAN Elektronik社(トルコの無線機器や電子システムの製造メーカ)が4G/5Gの研究開発及び標準化活動への参画状況について、5GMFの佐藤事務局長が5GMF設立の背景と概要及び白書にフォーカスした最新の活動状況のプレゼンテーションを行なった。また、佐藤事務局長は、トルコの5GTRフォーラムとの協力・協調を前向きに検討するとともに、今年5月に東京で5GMFが主催する第3回Global 5G Eventに5GTRフォーラムの代表を招待したいとアナウンスした。
- **研究開発に関する特別セッション:** BİLGEM(Informatics & Information Security Research Center of TÜBİTAK(トルコ科学技術研究委員会))がTÜBİTAKの概要と活動状況、5Gのビジョンと研究開発状況について、NTTドコモの中村氏がドコモの5G展開戦略と5Gのための周波数の検討状況並びに5G実現に向けた国内外企業との実証実験の概要についてプレゼンテーションを行った。



ワークショップ終了後の講演者及び日トルコ関係者の集合写真